

前回協議会(H29.2開催)における指摘事項

指摘事項	回答
<p>高須浄化センター消化ガス発電事業について、投資に対する効果はどのくらいか。</p>	<p>初期投資として建設する施設は、高知県が整備する汚泥消化槽と事業者が整備する発電施設に分かれています。 高知県が整備する汚泥消化槽については、総事業費36億円のうち国の補助率2/3の補助金を活用し、残り1/3(12億円)を県と浄化センターを使用する高知市、南国市、香美市で負担し、計画では年間1億円(20年で20億円)の浄化センターの維持管理経費削減を見込んでいます。 事業者が整備する発電施設に関しては、建設工事費用などが公表された後、報告します。</p>
<p>発電用燃料としての木質バイオマスは今後どの程度の生産量になるか。</p>	<p>県の第3期産業振興計画に掲げるバイオマス利用量の目標については、H31年には68.7万m³(57.3万トン)(うち発電用21.6万m³(18万トン))への拡大を目指しております。目標値に対するH27年の実績は43.5万m³(36.3万トン)となっております。 (木材換算 1トン=1.2m³)</p>
<p>再エネ事業者の地域貢献等の調査(県内事業者と県外事業者の差) 法人事業税(電気供給業)の統計において、兼業により電気供給業として課税されていない事業者、また事務所と見なされない発電設備は全体の中でどの程度を占めるのか。</p>	<p>今後公表される予定の認定情報などを活用して調査・検討を行います。</p>